

KIFA 河内長野市国際交流協会 Report



93

Apr. 2015

- まちづくり防災避難訓練
- 日本語サロンオープンデー
- 災害情報を理解し、わかりやすく伝える
- 早稲田大学留学生と あ・そ・ぼ・う！
- ～顔文字わかりますか？～
- コンニチハ！日本語サロンです
- 外国人のための年金相談
- ボランティア・市民活動フェスティバル
- 世界情勢 ここに注目 2014！



まちづくり防災避難訓練

3月29日 河内長野市立長野小学校

震度6強の地震が起こったとの想定で、長野小学校区防災避難訓練が行われました。市内の地域や学校などから約40団体が集まり、KIFAから11か国20名とスタッフたちが多数参加しました。外国の方々は、最近仕事で来日したばかりの人、長く住み続けている人、留学生など様々です。

KIFAからは2名の外国の方がそれぞれ「役に立つ訓練ありがとうございました。楽しく出来ました」「怪我をしたときに、レジ袋を使って手当てをするのを覚えました。三角巾はいろいろ役立つことを学んだのでいつものバッグに入れておきます」と、感想発表をしました。

日本語がわからない外国人の参加者も、今日は見て、体験することでよい経験ができたようでした。ほとんどの国の方が、自分の国ではこのような訓練は経験したことがなくて、今日が初めての防災訓練だったようです。

被災地の情報によると、訓練以上のことは実際には出来ないそうです。これは誰もが一度は体験したほうがいいと思いました。

炊き出し訓練班にも早朝よりフィリピン、インドネシア、

中国の方が参加して、「外国の方がお手伝いして下さるのはいいことですね」と地域の方から言われました。温かいみそ汁や、炊き込みご飯、パンなどをいただき訓練を終わりました。



☆雨の中の消火訓練 実際の消火器を手に取り、ピンを外してレバーを握り、勢いよく水を的に当てました。



☆5人が協力して毛布と物干しざおで簡易タンカを作ります。怪我人役の人は、頭のけがを三角巾で手当てしてもらいタンカで搬送されます。簡単に作れるのに意外としっかりしているので、乗せられている人も楽しそうです。

☆骨折の応急手当では、薄い冊子をあてがいバンダナで2か所くります。レジ袋の端を切り裂き、三角巾の代わりにして腕を吊るし、後はネクタイで体に固定します。



うれしい受賞 すぐれた防災・災害支援拠点

平成26年5月6日、河内長野ガス株式会社の新社屋が竣工しました。同社屋の1階部分は、平成24年5月31日に市と同社で締結した「災害時における防災協力に関する協定」に基づき、平常時は、地域団体への地域防災力向上のための活動の場として、また災害時には災害支援拠点として提供いただけるなど、産官民連携による地域防災力の向上に役立てていただけます。

(市広報かわちながの 平成26年7月号より)

KIFA山本会長が取締役社長を務められる河内長野ガス株式会社の新社屋は、上記のように地域の防災・災害支援拠点として数々の工夫が凝らされています。また、市政アドバイザーの一人であり、KIFAの防災活動にもご協力いただいている紅谷昇平先生のご助言に基づいて建設されたこ

の社屋は、地域のための防災システムを備えており下記のとおり表彰されました。

- 2015年3月16日
BCAO アワード2014、企業防災部門の企業防災賞
(第3回国連防災世界会議のパブリックフォーラムで表彰)
- 2015年3月30日
大阪府第8回大阪サステナブル建築賞の優秀賞

なお、詳しくはKIFAホームページをご覧ください。



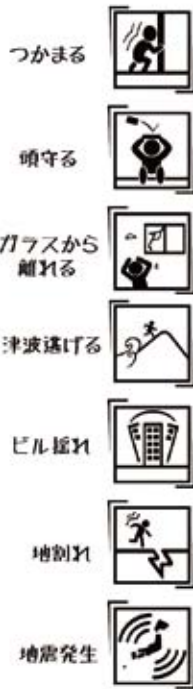
～顔文字、わかりますか(・・?)～

「災害情報を理解し、わかりやすく伝える方法を考えよう」
12月7日 市民交流センター（キックス）大会議室
講師：神戸大学 特命准教授 紅谷 昇平氏

7月に緊急地震情報などを、イラストで表し、日本語が分からなくても情報が伝わるようにということで、色々考えました。ところが現在の緊急警報システムでは、文字情報しか送れないという新たな問題点が浮かび上がりました。

今回は、紅谷昇平氏をお招きして、まず災害その物についての理解を深め、災害情報について学びました。地震の種類やどのようにして発生するのか、情報によって助かる命があることなど、やさしい日本語で参加された外国出身の方たちにも理解しやすく説明していただきました。

緊急情報の伝達手段として取り上げられたのは日本人にはなじみのある「顔文字」です。ワークショップでは、グループに分かれ、配られた顔文字や記号の例を参考に、例えば「地震」「大雨」「洪水」「土砂崩れ」「火山の噴火」などを表現しようとアイデアを出し合いました。ところが



ここで新たな問題が発生しました。絵文字の解釈の仕方が出身地域によって全く違うのです。「火山の噴火」の絵文字も、見る人によっては「ロケット」にみえるなど、異なる文化圏の人同士では思考回路がかなり違っていることが発見できました。顔文字を緊急情報に使うとするなら、解決すべき問題はまだまだありそうです。



講師の紅谷氏

前半の講演の中で、阪神・淡路大震災の時に救助された人々のほとんどが自力で、または家族や近所の人の助けで難を免れたことを知り、あらためて日ごろの家族やコミュニティとのつながりの大切さを痛感しました。河内長野は比較的自然災害の少ない土地ではありますが、天災は忘れた頃にやって来るといいます。準備は怠らないようにしたいものです。備えあれば憂い無し。そしていざという時には、近く外国人の方にも声をかけてあげたいですね。

外国人のための年金相談

2月1日 市民交流センター（キックス）大会議室
講師：社会保険労務士 柳田 治美氏

日本は全国民が国民年金に加入しなければなりません、日本に住む外国人の場合はどうなのでしょう？受給資格の条件とされる25年間の保険料支払い期間を満たせない外国人は国民年金に加入できないのでしょうか？いいえ、そうではありません。65歳になる前に日本国籍や永住権を取得した場合は、20歳から来日までの期間を「カラ期間」として受給資格の条件とされる25年に加えることができます。30歳で来日した場合は、20歳から30歳までの10年間はすでに支払った期間に含めることができるので、あと15年加入期間があれば良いということになります。

厚生年金は国民年金より受給額が多くなるので、勤務先に問い合わせ加入できるなら加入したほうが将来的に安心です。もちろん保険料が違ってきますから、自分の将来の計画などに照らして判断しなければなりません。



講師の柳田氏

日本を離れる場合でも、6ヶ月以上国民年金や厚生年金をかけた期間があれば、日本を出てから2年以内に請求すれば脱退一時金を受け取ることもできます。国によっては、日本での期間を母国での加入期間に含める制度をとっている場合もあります。

また、国籍や永住権を得た人は、日本人と同じ扱いになりますから、年金の受給資格を得れば、将来母国や他の国に移住したとしても、年金を受けとり続けることができます。

外国人の方にとっての年金のお話は、日本人にとっても、とても興味深い内容でした。参加された外国人の皆さんも、講師やOFIXの職員さんや市の担当者に自分の状況を話して個人的に相談することができました。様々な規定や条件があって、つい面倒とってしまいがちですが、せっかくの制度ですから有効に利用したいものです。市役所の窓口でも、個人的に相談できますので、分からないことは聞いてみましょう。

世界を取り巻く政治情勢から、一番ホットな地域とテーマを取り上げ、専門家の講師陣から詳しく、わかりやすく解説していただけると好評のシリーズ講座です。2014年度は昨年の12月6日の第一回を皮切りに4回に亘って開催されました。

第1回 2014年12月6日

食べて旅して -あまたあるブラジルの魅力を探し求めて-

講師：田所 清克 氏

(京都外国語大学ブラジルポルトガル語学科教授)

ブラジルに51回も行かれている河内長野市在住の田所清克氏を講師に迎え、ブラジルのお話をいただきました。ブラジルと言えば、移民とカーニバルが頭に浮かぶくらいの知識しかありませんでしたが、興味あるお話をいろいろ聞かせていただきました。

ブラジルの国土、気候、人種構成や宗教のお話から始まり、食文化の背景まで話が広がって行きます。ブラジルは、熱帯に根付いたポルトガル文明であり、大航海時代に、ヨーロッパやインドから持ち込まれた多様な食材が、この国の豊かな

食文化を作り出したなど、初めて耳にするような切り口でお話していただきました。

ちょっとショックだったのが、1908年から始まった日本からの移民のことです。日本からはるばるブラジルまで、新天地を求めて…と結構ロマンチックなイメージを持っていましたが、実は1888年の奴隷制廃止による、コーヒー農園の労働力不足に対応するための施策だったとのことです。

ブラジルは、もともとインディオと呼ばれる先住民の国でした。ポルトガル人がブラジルに到達し、労働力としてアフリカから黒人奴隷が連れてこられ、その後、移民政策に代わり、イタリア、ドイツ、アラブ、ロシアそして日本からの移民を受け入れました。この人種のルツボともいえる民族交流による食文化の融合が、ブラジルの食文化を形成しています。スライドで沢山の食材や料理を見せていただきましたが、成程と納得してしまいました。



右ページへつづく

第10回 日本語サロン オープンデー

3月8日 市民交流センター(キックス) イベントホール

今年はいつもより広い会場で、例年にも増して和気あいあいとした雰囲気が進められました。ベトナム、アメリカ、スウェーデン、インドネシア、中国出身の学習者の方のスピーチに続き、ベトナムの方の歌も披露されました。

スピーチでは、青春18切符を使って普通列車で東京まで12時間かけて行った経験を話してくれたベトナムのレ・ティエン・ズンさん、雪景色や富士山など途中の風景を満喫しながらの旅は、スピードばかり追い求めがちな私たちに、ゆったりとした旅の楽しさを思い出させてくれました。富田林市の高校に通うアメリカのハンナ・ネルソンさんは、アメリカと日本の違いについて紹介してくれました。お互いに言語を間違った使い方をしている例は、笑い話のようで楽しいものでした。スウェーデン出身のヨセフさんは、途中少し詰まったりするところがありましたが、会場から「がんばれ」の温かい声援がかかっていました。ユディカ・エルギアントさんは、スライドショーで母国インドネシアの紹介をしてくれました。美しい自然と美味しそうな南国のフルーツにお料理、インドネシアに行く機会があれば、もう一度お会いしてお話を聞きたいと思いました。スピーチの最後は、KIFA 語学クラブの中国語の講師もされている査樹忠さん。査さんは美しく静かで交通の便も良い河内長野が大好きですと発表してくれました。河内長野が、外国人の

日本語での交流、大盛況!



本番でも余裕の表情の発表者の皆さん

方にとっても住みやすい街であればとても嬉しく思います。

ベトナムのグエン・コン・カインさんは「あなただけを愛している」というベトナムの歌で、恋する若者の気持ちを熱唱してくれました。また、かつて日本語サロンで学習していた方たちの飛び入り参加があり、韓国のイ・ヨン・スンさんが母国の遊び「チェギ・チェギ」を紹介し、中国の劉麗さんは歌で会場を盛り上げてくれました。

その後、各テーブルに別れて外国人の方たちとお話しする交流の時間となりました。昨年のオープンデーで会ったベトナムの青年にまた今年も会いましたが、日本語がとても上達していて驚きました。日本はきれいで便利で大好きだけれど、寒さはこたえるとか。でも、日本での生活を楽しんでいる様子にこちらも嬉しくなりました。

第2回 2015年1月24日

東アジアの危機と日本 — 「文明」と「バランス」から考える—
講師：捧 堅二 氏 (桃山学院大学兼任講師)

最初に世界を「文明」の観点から理解するために、サミュエル・ハチントン氏の「文明の衝突」理論が紹介されました。それによると、現在の世界には9つの主要な文明が存在するそうです。たとえば、西洋文明、東方正教会文明、イスラム文明、ラテンアメリカ文明などです。驚いたのは、同氏の理論の中で、日本だけでひとつの「日本文明」としてとらえられているということです。アジアの国々でも、中国、台湾、シンガポール、北朝鮮、韓国、ベトナムは、「中国(中華)文明」に分類されています。



同じアジアの中でも、日本は独自の文明であると考え、お隣の国なのに、何かぎくしゃくしている最近の情勢にも納得がいきます。

基礎となる文明が違うのだという意識をもって、友好、協調に努力する必要があります。

第3回 2015年1月31日

激動する世界 — 2015年の展望 — 日本の安全保障を考える
講師：村山 高康 氏 (桃山学院大学名誉教授)

「安全保障」とは何だろうか？というところからお話が始まりました。狭義の安全保障には、いわゆる 集団的自衛権などがからんでくる「受動的な主権行使」があります。これは戦争やそれに近い状況で国民の生命・財産・日常生活の安全を守ろうというもの。広義の安全保障は、「能動的な主権行使」で、国民の日常生活を豊かにするためものです。



広義の安全保障を考えるということで、消費税増税の話題が取り上げられました。過去の消費税の導入・増税の時には、物品税の廃止や所得税・住民税の減税があったのに、今回の5%から8%への増税にはそのような措置がとられなかったうえに、東北の震災後に制定された2%の復興税も課されているのです。すでに忘れかけていた事柄を再度指摘しての説明に納得しつつ聞かせていただきました。また、アベノミクスのデフレ脱却のための方策としての是非や、危ないと言われる日本

次ページへつづく

ホームステイ in 奥河内 (3月13日~16日)

早稲田大学留学生と あ・そ・ぼ・う!

3月14日 市民交流センター (キックス) イベントホール

早稲田大学の留学生たちが、日本の家庭での生活を体験するために、河内長野市にやってきました。アメリカ、オランダ、韓国、タイ、中国からの留学生の皆さんと34人の幼稚園から中学生の子どもたちが、イベントホールに集まり、小さな国際交流のひとつを楽しみました。

韓国のリュ・アルムさんと、タイのチョンプラパーコーン・ワットさんの司会で交流会が始まりました。留学生の皆さんの自己紹介のあと、国ごとに5つのテーブルに分かれ、子どもたちが順にテーブルを回りながら、出身国について教えてもらったり、言葉を習ったりしました。最初はちょっと緊張していた子どもたちもすぐに慣れてワイワイガヤガヤ。壁際で見守っておられた保護者の方々も、いつのまにか子どもたちに交じって留学生の皆さんとのコミュニケーションを楽しんでおられました。

○Xクイズでは、不正解の人が、ほとんどいなくて、賞品をもらえるジャンケン大会の出場者的人選がなかなか進みませんでした。やっとジャンケン大会が始まったと思ったら、最初のジャンケンに負けて泣き出す子もいて、文字通り、涙あり笑いありの時間でした。続いて行われた、各



ひな飾りを見たり、茶道体験もしました。初めてのたこ焼き作りにも挑戦!



国の「こんにちは」という言葉を使った椅子取りゲームでは、子どもたちが大喜びで走り回っていました。

最後は、KIFA 会員の深見さんのギター伴奏で、「しあわせなら手をたたこう」を一緒に日本語で歌いました。手拍子足拍子の中で、留学生の皆さんにそれぞれの出身国の歌詞で歌を披露してもらいフィナーレとなりました。

小さい時から、いろいろな国の人と接してお互いのことを知り、交流を深める機会を持つのは、とても大切なことです。子どもたちにとっても忘れられない出会いになったことと思います。

お世話になったホストファミリーの皆様、ありがとうございました。



母国の紹介をする中国からの留学生



○Xクイズ



椅子取りゲーム



♪しあわせなら手をたたこう♪



「自撮り棒」で記念撮影

の財政状況のとらえかた、国債が次世代への「借金のつけ回し」なのかなど、わかりやすい語り口で、普段わからないからと避けて通りがちな経済について、耳を傾けさせられた内容でした。

第4回 2015年2月7日

「クーデター後のタイ：軍事政権は危ないの？」

講師：江川 暁夫 氏 (桃山学院大学経済学部准教授)



タイから帰国されたばかりの江川氏より、ホットな情報をお話していただきました。2014年5月に起こったクーデターは、選挙制度改革について、与党であるインラック政権と民主党との間で歩み寄ることができず、民主党寄りの主張をする市民団体PDRCが道路の占拠や主要官庁の乗っ取りなどの実力行使を行ったことに端を発しています。軍が、与党と民主党・PDRCとの間で歩み寄ることを提案しましたが、一歩も歩み寄らず、軍によりクーデター宣言となり、陸軍最高司令官プラユット氏による暫定政権が発足したわけです。クーデターと言っても、血なまぐさいものではなく、テレビを通じての軍部による会見が行われただけです。クーデターは事実上の「仲裁決裂クーデター」で武力衝突は一切ありませんでした。

タイは、鉄道整備の協力などで、日本とも関係の深い国です。現在も軍事政権のまま、プラユット氏が暫定首相を務めており軍部はすぐに民政移管をしないで、権力を握ったまま選挙制度改革や新憲法制定を進める道を選んできました。インラック派を抑え込むために、戒厳令は続け、言論や集会の自由を制限したままになっています。プラユット政権下で、無秩序な状態が発生する可能性は低いと思われませんが、有期と表明されている軍事政権が長引く可能性は残されています。消費の面からの長期的な好調が予想される一方で、生産面での構造転換が求められています。また、昨年の経済の成長率は1%で過去3年間の最低水準となっており、経済的な停滞の不安は残っています。

タイ旅行については、政権が暴走しない限り、通常程度の注意で十分問題ありませんとのことでした。

■ヤングアメリカンズ in 河内長野

アメリカの若者約50名と一緒にダンスと歌のワークショップを通して、自分を表現することの大切さや、一つのことをやり遂げることのすばらしさを学びます。最後にはヤングアメリカンズと共にショーステージを作り上げます。

日時：5月28日(木) 16:30~19:40

場所：ラプリーホール 大ホール

お申し込みについて：

★参加対象 --- 小学校1年生以上

★募集定員 --- 先着200名

★ワークショップ参加費 --- 3,500円

★ショー鑑賞チケット --- 500円

(KIFA会員、小学生以下 無料 ※要チケット)

★申込み方法 ---

電話、メール、FAXで国際交流協会まで

当日の予定：

受付 --- 16:00

ワークショップ --- 16:30 ~ 18:30

休憩 --- 18:30 ~ 19:00

ショー開場 --- 18:45

ショー --- 19:00 ~ 19:40



●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
4月	Apr	5・12・19・26	7・14・21・28	2・9・16・23
5月	May	10・17・24・31	12・19・26	7・14・21・28
6月	Jun	7・14・21・28	2・9・16・23	4・11・18・25
7月	Jul	5・12・19・26	7・14・21・28	9・16・23・30

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00~16:00

千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00~11:45

市民交流センター(KICCS)3階

木曜日 Thursdays 18:00~20:00

ノバティ南館3階 ノバティホール

●語学クラブ スケジュール



コース	英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	スペイン語 (初級)	
時間	14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	
開講日	4月	11	14・28	7・21	3・17
	5月	9	12・26	5・19	1・15
	6月	13	9・23	2・16	5・19
	7月	11	14・28	7・21	3・17



■平成27年度総会

日 時:4月26日(日) 11:00～
場 所:市民交流センター(キックス) 中会議室

■日本語サロン 日曜日スタッフ募集

地域在住の外国人の方にボランティアで日本語学習のサポートをしてくださる方を募集します。

応募資格:＊河内長野市国際交流協会主催の「日本語ボランティア講座」または他機関で日本語教育に関する講座を受講した経験のある成人の方。

＊日曜日午後2時～4時のクラス(場所:千代田公民館)に毎週参加できる方。

募集人員:若干名。応募者多数の場合は抽選。但し、選外となった方は待機スタッフとして登録され(1年間有効)欠員に応じて参加可。

応募締切日:5月29日(金) 必着

＊サロンを見学することもできます。

応募方法:電話で、またはハガキに住所、氏名、電話番号と受講修了講座名又は機関を明記して事務局まで。

■ゆかた着付けと盆踊り

ゆかたを着付けしてから、野作公園での盆踊りに参加します。夕食は済ませてからご参加ください。

対象:外国出身の方とご家族
日時:7月18日(土) 17:00～20:30
場所:市民交流センター 和室
野作公園
参加費:無料
申込み:電話かメールで事務局まで



■問い合わせ・申込み

河内長野市国際交流協会(KIFA)
事務局
〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス)3階
TEL: (0721)54-0002
FAX: (0721)54-0004
Eメール: office@kifa-web.jp



カーメル市の
世界で1番小さい子ども美術館
(ギネスブック公認)

■国際料理教室～イタリア編～

イタリアの家庭料理を教えてください。

講 師:マリア・ピーナさん

日 時:6月17日(水) 10:00～14:00

場 所:市民交流センター(キックス)4階 食工房

参加費:KIFA会員 1000円、一般 1500円

定 員:先着30名

持ち物:エプロン、布巾、筆記用具

申込み:電話で国際交流協会まで(受付開始6月5日)

■生活マナー講座

外国人の方が対象ですが、KIFA 会員ならどなたでも参加いただけます。

★入学式にはどんな服装で行けばいいの?

★お葬式にはなんていえばいいの? ★どんな「のし袋」?

★入院のお見舞いは?

など生活一般のマナーについて勉強しましょう!!

日 時:① 6月20日(土) 14:00～15:30

② 7月11日(土) 14:00～15:30

場 所:市民交流センター(キックス)3階 中会議室

参加費:無料

講 師:池田マリア(多文化共生活動部会スタッフ)

申込み:電話かメールで事務局まで

■アートフェスティバル参加者募集

米国インディアナ州にある姉妹都市カーメル市で9月26、27日に開催される国際アートフェスティバルに参加して、日本文化の紹介と自作品の販売をしてみませんか?

対 象:

①姉妹都市交流を理解し、当協会の代表として参加できる人

②日本文化の紹介と自作品の販売ができ、帰国後、滞在中の報告ができる人

とき:9月23日～30日(6泊8日)

＊滞在中はホームステイ

募集人数:2,3名(選考あり)

申込み:電話かメールで事務局まで

(受付開始6月5日)



コース	中国語 (中級)	中国語 (初級)	中国語 (入門)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間	19:00～20:30	19:00～20:30	14:00～15:30	13:00～14:30	10:30～12:00
開講日	4月	10・24	3・17	1・15	15・22
	5月	8・22	1・15	6・20	13・27
	6月	12・26	5・19	3・17	10・24
	7月	10・調整中	3・17	1・15	8・22

アメリカと日本の違いについて

ハンナ・ネルソン (アメリカ)

みなさん こんにちは!

わたしはアメリカのウィスコンシン州から来たハンナです。富田林市の河南高校で日本語を勉強しています。日本に来て6ヶ月になります。ときどき大変なこともあります。とても楽しいです。多くの新しいことを体験し、新しいものを食べたり飲んだりできます。それが楽しいのです。

日本に来た目的はアメリカと日本がどのようにちがうのかを知りたかったからです。ですので、わたしが見つけたアメリカと日本のちがいを紹介します。

まずは学校のことです。アメリカの学校は生徒が教室を移動します。でも日本は先生が移動します。私は移動することが好きではありません。なぜなら、休み時間が長いほうがいいからです。アメリカの体育は男の子と女の子がいっしょに授業を受けます。また、日本の公立の学校は制服があります。でも、私立は制服がないところもあります。アメリカはぎゃくです。日本では先生が時間割をきめます。アメリカは自分できめます。授業をきめるのは楽しいので、わたしは自分できめるほうが好きです。クラブもちがいます。日本では多くの生徒はひとつのクラブにだけ入りますが、アメリカではいくつかのクラブに入ります。

ちがいがあるのは学校だけではなく。まずはテレビについてです。日本はバラエティが多いですが、アメリカではコメディとドラマが多いです。たとえば、”The Big Bang Theory” というオタクっぽい4人の科学者についてのコメディや、”CSI” や ”Law and Order” などの犯罪ドラマがあります。

それにアメリカと日本の食べものはまったくちがいます。日本食は魚介類をたくさん食べ、お肉をあまり食べません。でもアメリカは日本とぎゃくです。日本人はいつもお米を食べます。アメリカには主食はほとんどありませんが、みんなはパンがとても好きです。日本人は水とお茶をよく飲みますが、アメリカ人は水と牛乳をよく飲みます。

さいごに、日本とアメリカはおたがいの言葉をまちがって使っていることがあるので、紹介します。アメリカ人は漢字のタトゥーをいれています。でも、多くのばあい、その漢字の意味をわかっていません。たとえば、アメリカ人は”free”を辞書でしらべて、まちがった日本語のタトゥーをいれてしまいます。

本当は「自由」といいたいのに「無料」といれてしまいます。反対に日本では T シャツにまちがった英語の文が書かれています。

以上が、私が日本に住んでいる間に見つけたアメリカと日本のちがいです。もっともっと日本のことを学んで、これからもたくさんのちがいを見つけたいと思います。



市制60周年記念 第15回ボランティア・市民活動フェスティバル



2月22日キックス全館

～よりよい明日へ～「さし出す勇気 受け取る勇気 紡ぐ未来」

ボラフェスの愛称でおなじみのボランティア団体が集まるフェスティバル。来場者数は4900人!どの会場も熱気で暑いほど。KIFAも展示会場でブースを出しました。

エンディングでは、手話を交えて、中島みゆきの「糸」をみんなで歌い大勢のボランティアが一つになりました。



KIFAのブースでは、活動紹介の展示と世界のグッズの販売



編集後記

防災避難訓練に参加してきました。本格的な訓練は初めてだったのですが、いつも何気なく使っている家庭用品が、立派な防災用品に変身することが分かりました。「物干し竿」「毛布」「雑誌」「バンダナ」「レジ袋」「ネクタイ」などです。驚いたことにこれらが少しの工夫でタンカやギプスの代わりになるのです。

今後30年以内に震度6弱の地震が起こる可能性は、60%と言われています。非常持ち出し袋や防災用保存食、飲料水などもう一度点検して期限切れなどの物がないか、いざという時のために備えたいと思いました。

無料
メールマガジン
配信中!

KIFAの楽しいイベントや情報を、いち早くお知らせします。お申し込みは、事務局または、KIFAホームページから。

<http://www.kifa-web.jp/>

Annie